

地方公共団体金融機構 第86回代表者会議会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

令和8年6月22日(月) 10時00分～10時45分

(2) 場所

地方公共団体金融機構 第一特別会議室(ウェブ会議システム併用)

2 委員の氏名

委員	河野 俊嗣	(ウェブ会議システムを通じての出席)
〃	中野 正康	(ウェブ会議システムを通じての出席)
〃	棚野 孝夫	(ウェブ会議システムを通じての出席)
〃	小幡 純子	(ウェブ会議システムを通じての出席)
〃	神野 直彦	
〃	池田 晃治	(ウェブ会議システムを通じての出席)

3 議事の概要

別紙のとおり

4 議決した事項及び賛否

議案1	令和7年度決算	全員賛成
議案2	会計監査人の選任	全員賛成

以上

地方公共団体金融機構

代表者会議議長 河野 俊嗣

(別紙) 議事の概要

審議に先立ち、ウェブ会議システムにより、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認。

1 開会

委員長より、本会議は、地方公共団体金融機構定款第 10 条第 1 項に規定する定足数に達しており、有効に成立している旨を報告。

2 議事

- (1) 議案 1 令和 7 年度決算
- (2) 議案 2 会計監査人の選任
- (3) その他報告事項

事務局 (議案及び報告事項について報告)

委員 議案 1 を通じて、機構は、防災・減災事業や経営が厳しい公立病院への支援など、今まさに多くの地方公共団体が直面している課題に対して、力を貸していると改めて認識。

国において、消費税減税や給付付き税額控除等の地方財源に関係した議論があるが、地方公共団体の財政運営に支障が生じないように機構には引き続き支援を期待。

日銀の政策金利が 1% に上昇するという金利上昇局面において、対応に悩む地方公共団体が多く出てくる中、機構には引き続き、そのような悩みに対する支援をお願いしたい。

委員 金利が上昇する中、財政融資資金利率と同等という有利な条件で、地方公共団体に貸付けを行うため、機構特別利率の特例を適用したことに感謝。

また、経営・財務マネジメント強化事業は、専門的な知識が不足しがちな町村にとって、大変有効でありがたい事業であるため、引き続き地方の意見を踏まえつつ、内容の充実に努めていただきたい。

委員 国際情勢が揺れている中で、機構の運営においては大変な点もあると思うが、引き続き機構の役割を十分果たしていただきたい。

地方支援業務において、経営・財務マネジメント事業の実績が伸びているが、その要因としては、オンラインに限定せず対面での支援を行っているからだと考える。

当事業を利用した結果、好評だった場合には、複数回の利用を検討する地方公共団体も多いかと思うが、状況を教えてほしい。

理事長 多くの地方公共団体から、何度も支援してほしいというお声を伺っており、ニーズに応えることができるよう、従来、派遣回数については、原則5回を上限としていたが、令和8年度から、派遣回数を原則10回に増加させた。

委員 機構は、使命に基づき、的確に状況を判断し、適切な運営ができていると評価。

昨年度創設した機構特別利率の特例は、実際に適用され、時宜にかなった取組であったと理解。

将来の見通しが立てづらい時代になったとしても、今後も一層適切な判断に基づいた運営を行うとともに、地域から社会を作るために機構としての役割を果たしてほしい。

委員 金利が上昇する中、発行体としてのリスク管理は一層重要。短期間の債券である2年債を発行する等、投資家の需要に対する的確に応えており、評価。

また、機構特別利率の特例の適用は、機構が政策金融としての役割をしっかりと果たしていると認識。

地方公共団体における担い手が少なくなる中、地方支援業務は、ますます重要になってくるため、引き続き活発に取組んでほしい。特に、公営企業の経営改革、地方公共団体のDX等に係るアドバイザー派遣の支援件数が増加していることは、地方公共団体の抱える課題が反映されていると認識。

委員 ますます国際情勢・金融市場の不透明感が増す中、機構が先を見据えた着実な運営を行っていることに感謝。

今後の国の財政運営については、どのような決断がなされ、またそれを市場等がどのように受け止めるのかという点は、動向を注視しているところ。

機構については、引き続きしっかりとアンテナを張りながら、業務運営に尽力してほしい。

議長 議案1及び議案2について、原案のとおりとよろしいか。

(全員賛成)

議長 議案1及び議案2について、原案のとおり可決する。

3 閉会

議長は、議事を終了し、閉会を宣した。

以上